

## サイレントパイラーをロシアへ初納入

株式会社技研製作所(本社:高知市/北村精男社長)は、圧入機サイレントパイラーをロシア・サンクトペテルスブルグの工事会社に納入した。中心市街地にある新築商業ビル地下駐車場建設に圧入工法が採用され、ロシア初の圧入施工が行われている。

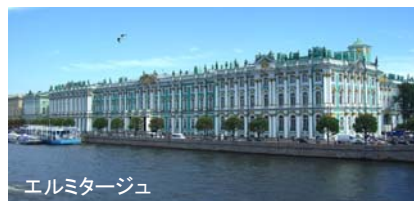
好況なロシア経済を背景に、歴史的建造物の多い都市部でインフラ再整備が進む。一部施設では地下駐車場の設置が義務付けられ、周辺環境に影響を与えない圧入工法への関心と認知度が高まり、ロシアでの圧入機初納入へとつながった。

お問合せ先: 株式会社技研製作所 海外事業部 TEL/088-846-2980 Email/international@giken.com

ウェブサイト/[www.giken.com](http://www.giken.com)

### ■ 納入情報

1. 納入機種: Z形鋼矢板専用サイレントパイラー「Zパイラー-SCZ100」1台
  - ・ 欧米で主流のZ形鋼矢板専用開発した海外仕様機で、欧州での工事実績多数
  - ・ 当社のオランダ現地法人 Giken Europe B.V.の保有機をオーバーホールして販売
2. 納入場所: ロシア、サンクトペテルスブルグ、新築商業ビルの地下駐車場建設現場



サンクトペテルスブルグの中心、世界的に有名なエルミタージュに程近い工事現場が納入場所。新しい商業ビルの地下駐車場を建設する工事で、サイレントパイラーがロシア初の圧入施工。

3. 販売先: オランダのエージェント会社: ENERGOAVIA 社(エナゴアビア社)  
ロシアの現地基礎工事会社: OVASIA 社(オバシア社)

ロシアでは、建設機械や材料など高い割合で西側諸国に依存しており、西側にエージェントやJV 会社を設け、そこを経由して入手するケースが多い。今回は、ロシアで複数のプロジェクトに携わるオランダの会社が購入者となり、そこからロシアの現地企業 OVASIA 社(オバシア社)に輸出する形態で納入した。

4. 納入日: 2008年7月8日

## ■ 販売の背景

ロシア初の圧入機納入場所はサンクトペテルスブルグ(St. Petersburg)、旧ソ連時代はレニングラードと呼ばれ、第一次大戦前まではペトログラードとして知られた場所。モスクワに次ぐ大都市で、ノルウェーとの国境に近く、ロシアでは西側に最も近い文化と経済を有している。

国際石油価格の高騰を背景にロシア経済は好調に推移しており、都市部ではインフラ再整備や再開発が急激に進んでいる。一方、ピョートル大帝によって建都されたサンクトペテルスブルグに代表される由緒ある都市では、歴史的建造物の保護が求められている。

また、河口を埋め立てて造営されたことから、古代の“浮き基礎”工法で作られた建造物も多く残っており、再開発によるそれらへの影響も最小限に抑える必要がある。さらに、一定区域内でホテル等の構造物を再開発する時は、地下駐車場の設置が義務付けられたことで、周辺環境に影響を与えない圧入工法への関心と認知度は年々増大している。

欧州における新しい圧入市場として、今後の発展が期待される地域である。

以 上